



第23回せせらぎフェスティバル in 高松堰

高松堰では毎年海の日に「せせらぎフェスティバル in 高松堰」が開催されており、今年は7月21日（月）に開催された。今年で23回目の開催となるこのフェスティバルは、盛りだくさんの企画で賑わいをみせた。無料で誰でも参加できるため、来年のせせらぎフェスティバルには、今年参加した方も参加していない方も是非参加してみたいだろうか。



川越さんへインタビュー

魚のつかみ取りやチューブスライダーなどで約500名がお祭りを満喫しました。地元の方による納豆餅やかき氷の振る舞いも好評で、参加していただいた方の笑顔あふれるお祭りとなりました。

今後は、伝統的な地域資源であるこの高松堰の魅力をお祭を通して広く発信していけるよう広報等に力を入れて活動していきたいです。



水と里ネット寒河江川
事務局

総合司会を務めた
寒河江川土地改良区
総務主事 川越さん



お問い合わせ
寒河江川土地改良区

〒991-0005 山形県寒河江市中河原 222-2
TEL : 0237-86-5112



水
土
里
ウォーク

せせらぎで彩る 高松堰

高松堰の歴史

高松堰は、寒河江市の南西部、寒河江川と最上川に囲まれた平野部に位置する市域最大の用水堰だ。高松左門が現在の頭首工より約700m下流に設けたものが始まりとされる。下流地域は、足下に最上川がありながら用水不足に悩んでいたため、慶長14年（1609年）に、菊池藤五郎が卓越した測量技術により、全長8,000mに及ぶ用水路を完成させた。これが現在の高松堰幹線用水路の原型であり、寒河江西方面の耕地開発が一段と進展するきっかけとなった。

昭和15年に寒河江川の大洪水が発生し、高松堰、新田堰が大きな被害を受けた。その際に大規模な改修が必要となり、高松堰普通水利組合と新田堰普通水利組合で協議した結果、合同頭首工とすることとなった。昭和16年に着手した後、幾多の困難を克服して、昭和21年に新しい高松堰が誕生した。

用水路沿いの遊歩道（ふれあいの小道）が高松小学校の持久走コースとして利用されるようになると、児童と地域住民による除草・清掃活動が始まり、「グラウンドワーク高松堰」を中心に、活動が行われるようになった。

グラウンドワーク

高松堰とは…

平成11年に「グラウンドワーク高松堰」が発足。寒河江川土地改良区の中心的な役割のもと、5つの町内会の農家・非農家を問わない地区住民約330名で組織され、年に2回清掃活動や植栽活動を行っている。

